

4月のご挨拶

今月14日、本会創立70周年を期して推進される全会員世帯への御本尊と開祖さま脇祖さまのご法号の勧請に向けて、カリフォルニアのオレンジカウンティーに開設なされたばかりの佼成会インターナショナル北米センター（RKINA）を通して、鈴木耕太郎海外布教本部長より全米の各教会長に対してこの御本尊と御法号の授与式が行なわれました。この授与式は、ラスベガスで開かれた全米評議会（RKUS）のプログラムの一環として開かれたもので、参加者である各教会の理事会代表や支部長らも参加をされました。私は全米教会長の代表として、決意発表をさせて頂きました。以下にその内容の一部を紹介させて頂きます。

— 私どもは、佼成会インターナショナル北米センターの新たなるスタートを受けて、ここにご本尊並びに開祖さま脇祖さまのご法号を拝受する機会を頂けたことに深く荣誉と感謝の意を申し上げます。また、それと同時に更なる布教伝道に向けて全米会員に代わって、この御本尊とご法号を拝受させて頂いたことを、身の引きしめる思いで受け止めさせて頂いております。2006年、開祖さまの生誕百年をお祝いするなか、会長先生は無常法の認識による法華経の一乗精神に則った信仰と行法の新生を果たすというメッセージを私どもに託して頂きました。その後約2年間にわたって検討されてきた計画の集大成として、去る4月8日北米センターが開所の運びとなりました。今後、北米における布教の基点として並びに活性化の先衛としての役割が期待されております。私どもは来年、北米布教50周年の記念の年を迎えますが、それと機を一にしてここにまさに画期的な橋頭堡（きょうとうほ）が築かれることとなったのです。私ども北米会員はこの機会を生かし、サンガの着実な発展とそれに向けた積極的な布教展開に心血を注いでいくことをお誓い申し上げます。—

さて、本年のRKUSのもう一つの大きなテーマは2009年の全米布教50周年の記念事業である全米会員結集大会についてでした。会議の冒頭では、開催地がラスベガスでよいのかという点ばかりか、大会を開催すること自体に対しても消極的な意見が出されました。しかし、ハワイから参加をした代表は心一つにして、この大会の意義や開祖さまの願いを訴えました。会議半ばまでは「ハワイ教会や参加できる余裕のある教会だけでやればいいのか」という冷めた雰囲気支配していました。しかし最終日には「本格的な全米布教はここから始まっていくのだ」という熱い思いが皆の心に広がっていました。全米5教会の会員が異体同心となって、開祖さま会長先生より学ばせて頂いたこの尊い仏教の教えを、真剣になって弘めていくという決意ができたのです。ハワイ教会の参加者の情熱が他の教会の方々の心を動かしたことは間違いありません。このことを通して、私はやはりハワイ教会は特別な教会であるということを理解致しました。そして、その飽くなき情熱を持ってこれからの全米布教をリードして行かなければならない役があることを確信致しました。本番はこれからです。2009年8月1日（土）ハワイ教会では各支部から100人、全体で600人の参加者で大会を盛り上げることになっています。会長先生も当日ご出席頂ける予定です。2006年の開祖生誕100年記念団参に続く2009年の全米結集大会。もう一度あの熱い感動をみんなで分かち合おうではありませんか。

教会長 細山裕康

*私がお預かりしてきたご本尊とご法号は5月4日午前9時にハワイ教会の御宝前にいったん納められて、開眼供養が行われることになっております。皆様、是非御参列ください。